

麦秋(ばくしゅう)のころ

「麦秋」は麦の穂が収穫の時期を迎える、まさに今頃の時期を表す言葉で、初夏の季語です。「秋」がついているのに、初夏の季語？と不思議な気がしますね。「秋」はもともと「収穫・実りの時期」を表す言葉だったので、麦の実りの時期ということになります。

真っ青な空とその下に広がる黄色い麦畑という色彩のコントラストは美しく、目を奪われます。この景色が国旗のデザインとなっているのがウクライナです。上の青は広大な空を、下の黄色は小麦畑、大地を表しているそうです。今、そこに住む人々は、戦渦の中にあります。世界中のどこでも、青い空と大地を穏やかに眺める平和な日が早く訪れることを願わずにはられません。



言語化してみよう！〔1〕

「言語化」とは、「自分の状況や気持ちを、自分の言葉で伝えること」です。話すことでも、書くことでもOKです。たとえば

- ・自分が見て「すごい！」と思ったことを、見ていない人に言葉で伝える。
- ・知っている言葉をわかりやすい言葉に言い換える。・・・など。

◎言語化すると、どんなことがよいのでしょうか？

〔ケース1〕

Aさんたちが積み木で遊んでいました。Aさんが使っていた積み木を、Bさんがだまって持って行きました。Aさんは取り返しに行って、ケンカになってしまいました。

このとき・・・Bさんが「これ、使ってもいい？」とAさんに言っていたら？
Aさんは「うん、いいよ。」と言うかもしれない。または「ぼくも使いた
いから、じゃんけんしよう。」と言うかもしれない。

・・・どちらにしても、ケンカにはならなくてすむでしょう。

〔ケース2〕・・・〔ケース1〕の続き

先生に話を聞かれたAさんとBさん。Aさん「Bさんがとった。」Bさん「Aさんがたたいてきた。」先生は、なぜAさんがBさんをたたいたのか、よくわかりません。

このとき Aさんが「自分が使っていた積み木を、何も言わずにもっていかれたから腹が立った。」と言えたら？

・・・AさんがBさんをたたいた理由が先生にわかるでしょう。Bさんも「だまって持って行ったのがいけなかった。」とわかるでしょう。Aさんも「たたいたのはいけなかった。」と考えることができるでしょう。

このように、自分の状況や気持ちを、自分の言葉で伝えることが「言語化」です。これで

・自分の状況や気持ちを整理できる。・人の状況や気持ちを考えることができる。
⇒ 人とのいい関係ができる。(トラブルにならずにすむ。)

これが、言語化することのよさの 一つ目です。二つ目は次号で・・・